

見積業者選定経過書

1 業務名	副業・兼業人材と連携したクリエイティブ人材誘致事業業務
2 応募者数	5者
3 評価会議の構成 委員長 副委員長 委員	委員長：長野県企画振興部信州暮らし推進課 課長 副委員長：長野県企画振興部信州暮らし推進課 課長補佐 委員：長野県企画振興部信州暮らし推進課 担当係長 長野県産業労働部産業立地・IT振興課 課長補佐 長野県産業労働部労働雇用課 主任 計5名
4 選定基準	別紙のとおり
5 選定結果 選定された者	神原 沙耶 合計点：414/500点 順位点：25/25点
6 企画提案を求める具体的内容	① 共通事項 下記の各業務について、これまで培った自身の技能や経験を活用する視点（どういった部分で強みを発揮できるか）を反映すること。 ② 定例イベントの開催業務 ア 考え方、コンセプト イ 具体的な実施内容（イベント案）、スケジュール ③ 長野県に関する情報の発信業務 ア PRの考え方 イ 具体的な手法と展開案 ④ 業務等に関する経費及びその内訳
7 企画提案で評価された点	・本業務に対する理解度が高く、コンセプトが明確な点 ・自身の強みを活かした展開及び戦略的な情報発信について提案がなされている点
8 総合的判断	業務全体に対する理解が深く、各業務の提案内容についても自身の強みを活かした提案がなされている。 また、審査委員による採点の結果、最も高い順位点を獲得していることから見積業者として決定した。

副業・兼業人材と連携したクリエイティブ人材誘致事業業務 選定基準等について

1 公募型プロポーザル方式とする理由

当事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から都市圏在住者の地方への関心が高まっている中、主に地域の活性化に寄与するクリエイティブ人材層の長野県への関わりをつくり、将来的な移住、二地域居住及びつながり人口（関係人口）の創出を促進するものである。

当該ターゲット層に向けては、従来のように行政が一方的に情報を発信する手法ではなく、クリエイティブな志向性を有する人材が窓口となり、ひとと長野県を具体的に結びつけることが有効である。

そこで、現在、クリエイティブ人材層に注目されているウィズコロナ時代の新しい働き方のひとつである副業・兼業を通じ、個人の専門知識、技能及びつながり等を活かした取組を実行できる者を選定することが、当事業の目的達成に寄与すると期待できるため、当該方式を採用したい。

2 提案を受ける内容

- ① 定例イベントの開催、② 長野県に関する情報発信

3 提案を特定するための評価者及び選定基準

(1) 評価者（5名）

所属	職名	所属	職名
信州暮らし推進課	課長	産業立地・IT 振興課	課長補佐
信州暮らし推進課	課長補佐	労働雇用課	主任
信州暮らし推進課	担当係長		

(2) 選定基準

企画提案書等の提案内容 (50点)	・本業務の目的、ねらい等の理解度が高く、提案内容の着眼点、分析力、提案力が優れているか。 ・下記業務①、②について、提案全体を通じたコンセプトと適切なスケジュール感を有しているか。・事業展開のスケジュールは、明確で適切なものとなっているか。	10点
	【業務①：定例イベントの開催】 ・ターゲットとなる層へ訴求する内容、魅力ある展開が期待できるか。 ・県の関連施策や体制を理解した提案となっているか。	20点
	【業務②：長野県に関する情報発信】 ・SNS の特性を理解した提案となっているか。 ・ターゲットとなる層へ訴求する工夫された提案となっているか。	20点
事業遂行の 適格性 (40点)	本業務の遂行に際し、自身が持つスキルや専門性を活かした活動を期待できるか。また、十分な意欲を持って活動に従事する姿勢があるか。	20点
	上記の提案は、提案者の他の活動実態を考慮した上で無理なく実行できる内容となっているか。	20点
価格(10点)	企画内容に比して価格は妥当か。また、積算の考え方は適切か。	10点
計		100点